

# 東北地方 1か月予報

(6月21日から7月20日までの天候見通し)

平成15年6月20日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

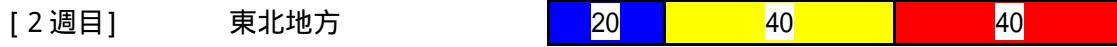
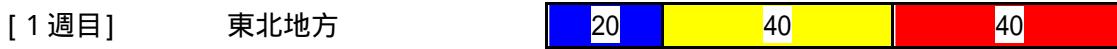
週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目は平年並か高い、3～4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 6月21日(土)～7月20日(日)

1週目 : 6月21日(土)～6月27日(金)

2週目 : 6月28日(土)～7月4日(金)

3～4週目 : 7月5日(土)～7月18日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月27日

3か月予報:6月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	19.4	187.4	131.5	18.0	18.8	20.2
新庄	20.8	196.8	130.5	19.4	20.2	21.5
若松	21.9	175.1	138.9	20.5	21.2	22.6
深浦	19.7	136.6	166.3	18.2	19.0	20.5
青森	19.4	94.3	167.4	17.9	18.7	20.2
むつ	17.9	123.4	142.5	16.3	17.2	18.7
八戸	18.4	117.3	154.1	16.8	17.7	19.3
秋田	21.2	182.2	155.9	19.8	20.5	21.9
盛岡	20.2	156.7	130.1	18.9	19.6	20.9
宮古	18.3	146.3	128.6	16.7	17.5	19.1
酒田	21.5	195.0	153.5	20.1	20.9	22.2
山形	21.6	150.1	131.2	20.1	21.0	22.4
仙台	20.4	181.0	107.7	18.9	19.7	21.2
石巻	19.8	146.5	126.8	18.3	19.1	20.6
福島	21.9	160.5	111.5	20.3	21.2	22.7
白河	20.5	205.0	105.8	18.9	19.8	21.3
小名浜	20.3	159.9	123.8	19.0	19.7	21.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.4	87~113	90~109
東北日本海側	-0.4~+0.4	85~112	91~106
東北太平洋側	-0.4~+0.4	84~111	88~113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.5	-0.7~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.5~+0.5	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.4	-0.8~+0.6	-0.6~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年6月20日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(6月21日~7月20日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(6月21日~6月27日) :

期間の前半は高気圧に覆われ概ね晴れますが、期間の後半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の所が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(6月28日~7月4日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線や低気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(7月5日~7月18日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

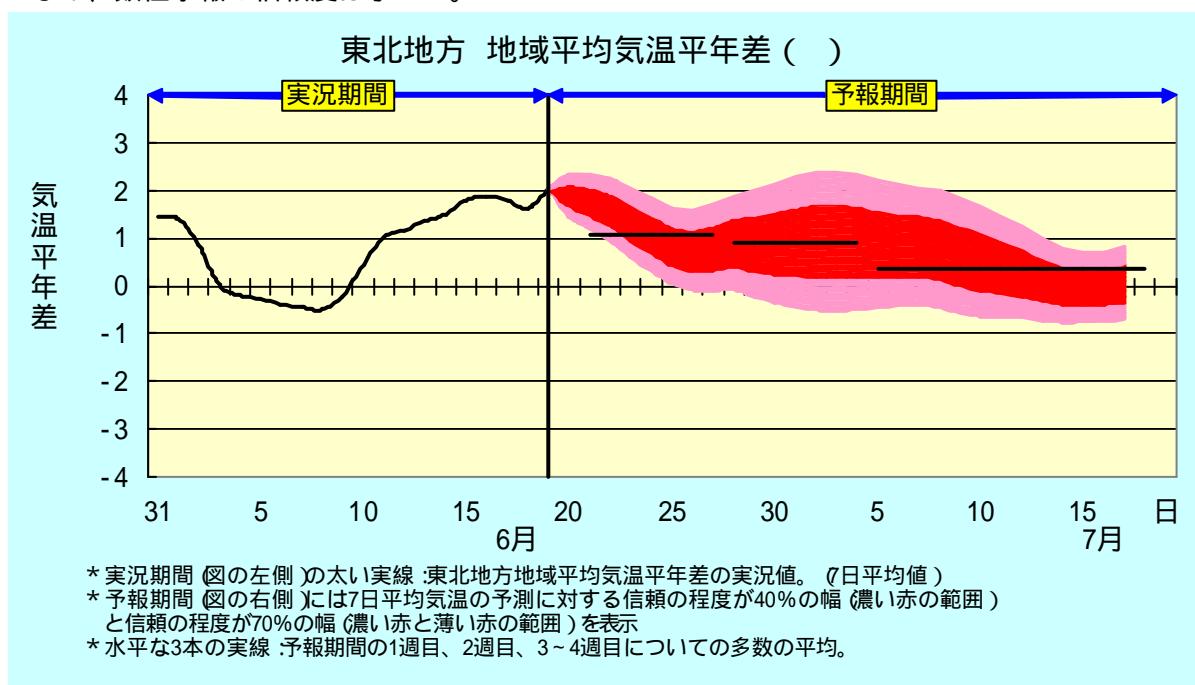
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.0日	2.7日	2.9日	5.4日
東北太平洋側	9.3日	2.2日	2.4日	4.7日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「高い」、3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目と2週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

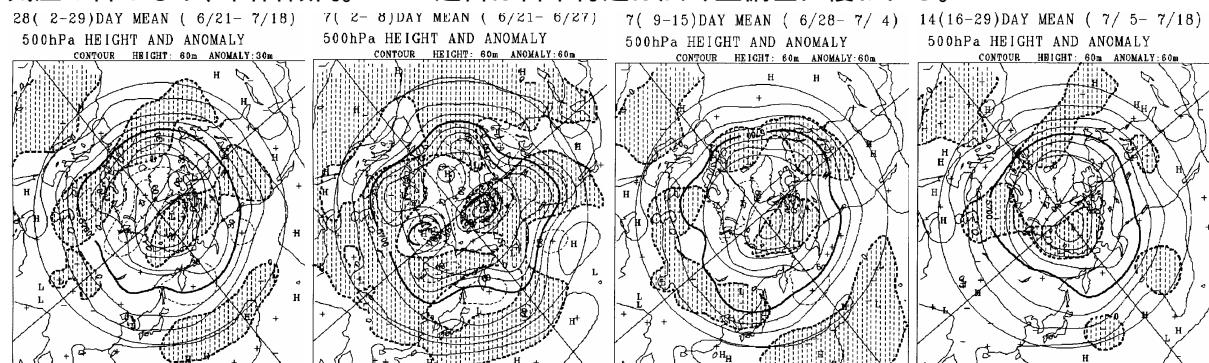


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は正偏差に覆われる。朝鮮半島付近には負偏差域があり、バイカル湖の東から大陸東岸は気圧の谷場となって、日本付近は弱い西谷傾向。また、オホーツク海付近には気圧の尾根が予想される。このため、天気は概ね周期変化するが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期もある。

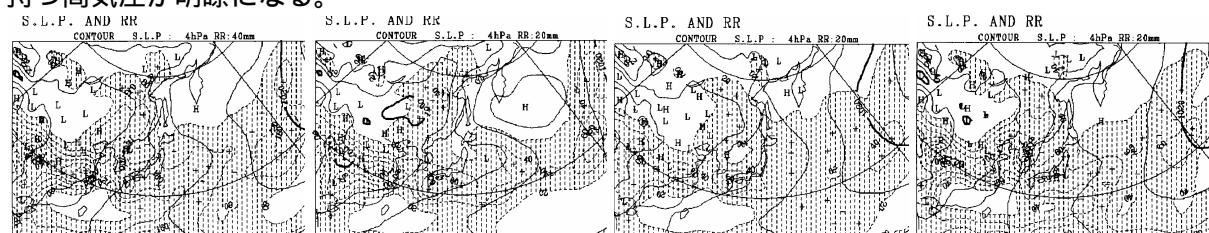
週別に見ると、1週目は日本海からカムチャツカの東にかけては正偏差。2週目は中国東北区が気圧の谷となり、西谷傾向。3~4週目は日本付近は広く正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近が低圧部となり降水域が広がっている。

週別に見ると、1週目は降水域は東北南部まで。カムチャツカの東に高気圧が予想される。2週目以降は、日本付近は広く降水域に覆われる。また、3~4週目はカムチャツカ半島の南に中心を持つ高気圧が明瞭になる。



### 4. 最近1週間（6月13日～6月19日）の天候の経過

この期間、気圧の谷や日本の南岸に停滞した梅雨前線の影響で、東北地方は曇りや雨の日が多くなった。18~19日は南から暖かい風が流れ込んで気温が上昇し、宮古、山形、福島で真夏日を観測した。

平均気温は、東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は少ない。日照時間は、東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。

